

経営比較分析表（令和4年度決算）

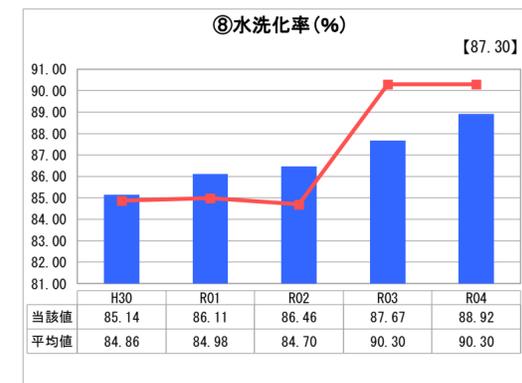
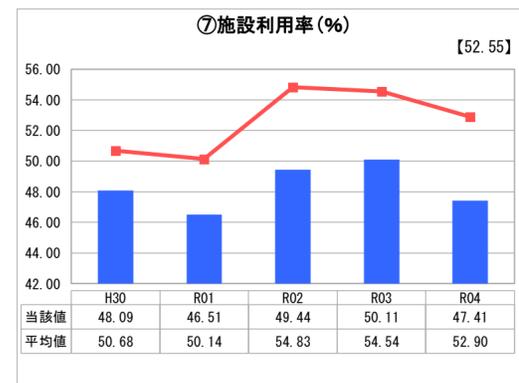
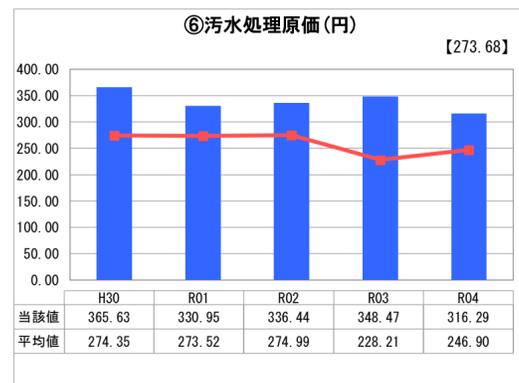
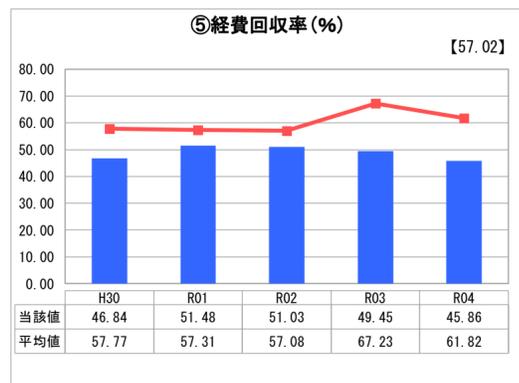
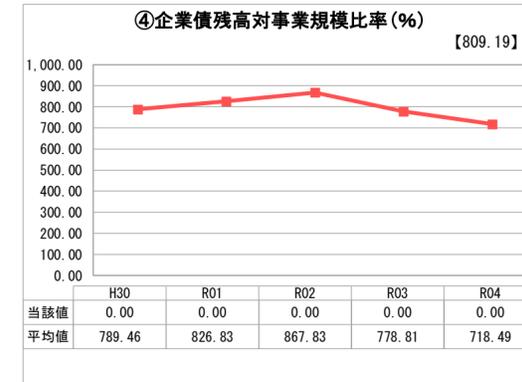
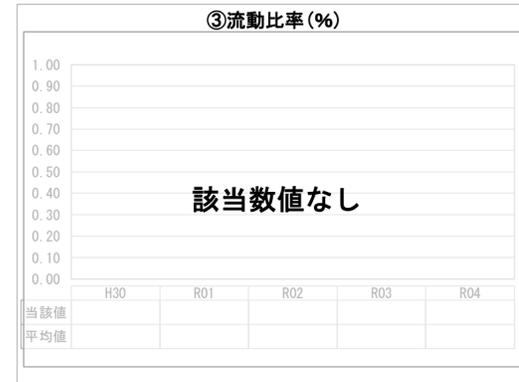
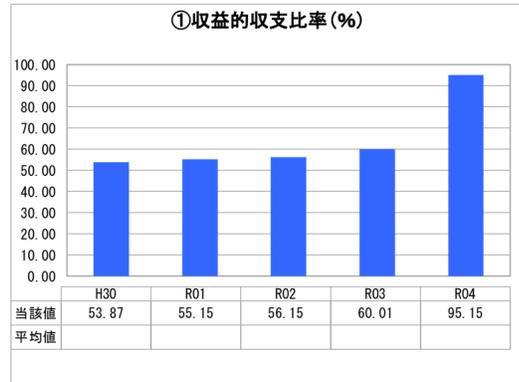
岐阜県 美濃市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 農業集落排水 | F1 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 16.15 | 91.53 | 2,772 |

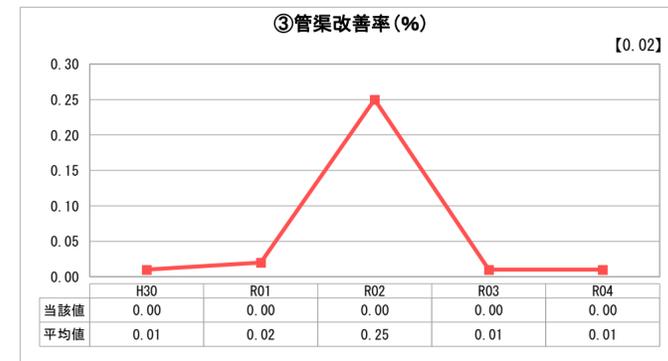
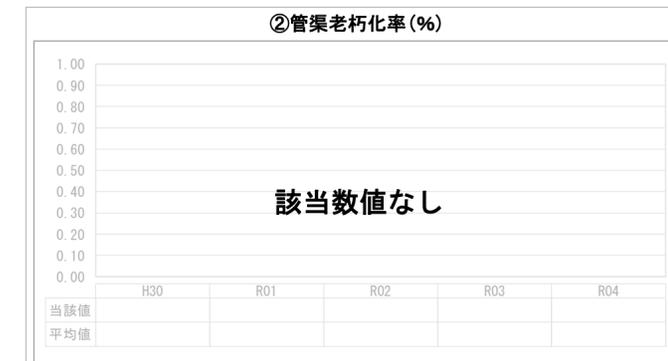
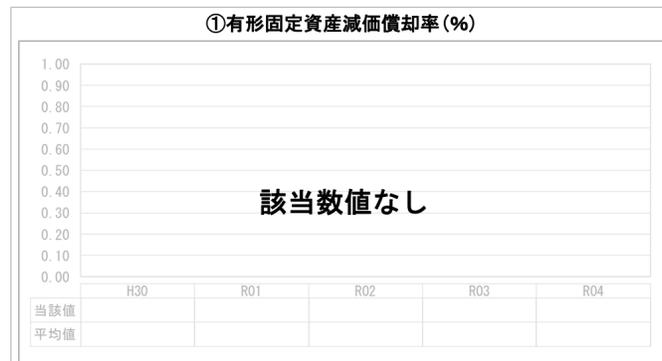
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 19,494 | 117.01 | 166.60 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 3,124 | 3.18 | 982.39 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値（当該値） |
| — | 類似団体平均値（平均値） |
| 【 | 令和4年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
令和5年度からの企業会計化に伴い、減価基金繰入金を収入に計上した事で、一時的に比率が上がっていますが、繰入金の計上の有無に関わらず、総収益では地方債償還金を加えた総費用を賄いきれていません。使用料の見直し等、経営改善に向けた取り組みが必要です。
- ④企業債残高対事業規模比率
起債残高はあるものの、一般会計が負担すべき（一般会計から繰入るべき）金額は除いてあるため、企業債残高対事業規模比率は0となっています。
- ⑤経費回収率
人口減少等により料金収入は減少傾向にあり、経費回収率は微減しています。比率も100%を大きく下回っているため、適正な使用料収入を確保する必要があります。
- ⑥汚水処理原価
昨年度と比較すると原価は減少しているものの、類似団体の平均値と比較しても高い水準にあります。今後も経費削減を図りながら最適な処理方法を検討していきます。
- ⑦施設利用率
水洗化率は増加したものの、人口の減少による処理水量の減少が当該値の低下要因と考えられます。接続率の向上について検討する必要があります。
- ⑧水洗化率
当該値は年々上昇していますが、類似団体と比較すると低い水準です。啓発活動等によって更なる接続率向上を図ります。

2. 老朽化の状況について

- ③管渠改善率
供給開始は平成4年であり、現時点では管渠の更新は必要ないですが、電気設備は更新の時期を迎えており、必要な更新から随時実施しています。管路については、将来の更新時期に備え、老朽化の状況や利用状況の現状について情報収集・整理の必要があります。最適化構想や美濃市農業集落排水事業経営戦略等の計画を着実に実施し、資産の適正管理に努めます。

全体総括

今後、人口減少による農業集落排水使用料の減少や老朽化等による処理コストの増加が予測されます。安定した事業運営のため、施設全体の状況を適正に把握し、施設の更新や公共下水道施設への接続を含む、施設の統廃合について検討する必要があります。また施設の維持管理については、財政負担を軽減・平準化するとともに、適正な汚泥処理を行っていく必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。